

令和4年度ブロック研修別研修会の取組 実践発表 ～高知ブロック～

認定こども園 丑之助学園
分園 キッズ丑之助
分園 丑之助保育園

1 園の概要

・園児数	丑之助学園	145名
	キッズ丑之助	50名
	丑之助保育園	68名

・職員構成

園長	1
副園長	1
主任保育士	3
保育士	33
看護師	1
准看護師	1
保育補助者	6
栄養士	2
事務職員	3
用務員	1
調理員	5

- ・めざす子ども像
 1. ねばり強く、たくましい心を持った子
 2. 親に感謝し、友だちを大切にできる子
 3. 何事にもいっしょけんめいがんばる子
 4. あいさつのできる子
 5. いろいろな経験を通して豊かな感性と表現力を持った子

- ・保育目標 『粘り強く、いっしょけんめいがんばる子を育てる』

2 研修目標

「子どもの年齢に応じた発達を捉え一人一人が自ら遊びを楽しむ姿を目指した環境構成や保育者の援助を考える」

3 研修目標設定の理由

本園は高知市の中心地にあり3園それぞれに園庭があるが、園庭が狭く子ども達の遊びがマンネリ化してきている。子ども達は明るく元気で自己表現が豊かな子も多く、何に対しても興味や関心をもって遊びを楽しむことができている。一方で自信の無さや消極的な姿や、保育者に確認しないと安心できない姿が見られる。このような子ども達の姿から、子ども達一人一人が自ら積極的に興味や関心をもって環境に関わり、試行錯誤を繰り返しながら達成感を味わい、自信がもてるような多様な体験をさせていきたいと考えた。そこで子ども達の姿をじっくりと観察し、何を楽しんでいるのか、研究・協議を通して施設内の環境作りや保育者の援助について研修を深めていきたいと考えこの研修目標に設定した。

4 年間取組内容

月	取組	内容	月	取組	内容
4月	■園内研修	・今年度の研修目標の決定と年間計画の作成 ・園内研修の手引き・ガイドラインを活用した保育実践の確認	9月	■園内研修 (保育園の2歳児・基礎研1)	・本日の保育を通しての研究・協議
5月	■園内研修	・研修目標の共有 (1年間の研修の方向性について)	10月	■園内研修(学園4歳児)	・本日の保育を通しての研究・協議
6月	■親育ち支援研修 ■第1回保幼小連絡会	・親学講話 (園内外の子育て中の保護者対象の子育て講話)	11月	■公開保育(全施設) 学園5歳児 キッズ0歳児・2歳児 保育園1歳児	・公開保育を通しての研究・協議
7月	■園内研修(キッズ2歳児)	・本日の保育を通しての研究・協議	1月	■園内研修 (5歳児親育ち支援)	・年長児保護者の学習会
8月	■保幼小連携・接続学習会	・地域の子どもの育ちを共有し、円滑な接続について話し合う	2月	■1年間の振り返り ■13ブロック交流会への参加 ■第2回保幼小連絡会	・1年間の振り返り ・1年間の実践発表資料作成に向けた協議 ・研修目標に基づいた成果と課題、振り返り ・園内研修の手引き・ガイドラインを活用した保育実践の確認
			3月	■園内研修	・研究の成果や課題についての総括から次年度に向けての計画作りと年間指導計画の検討

5 成果

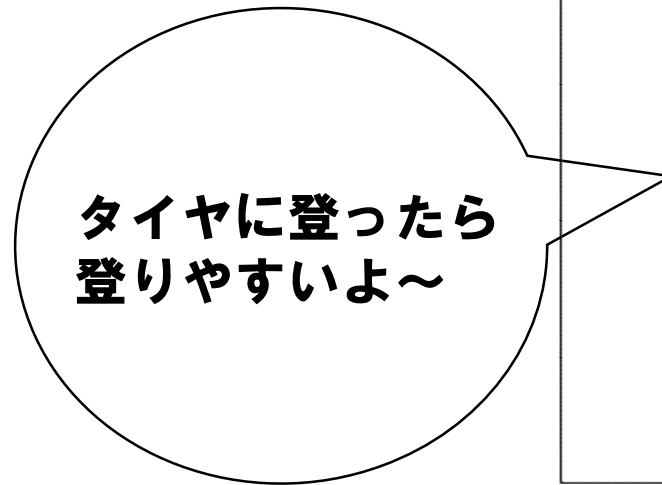
①子どもの姿の変容

- ・園庭や室内の環境の整備によって遊びに変化が見られた。（環境が増えた）**
- ・決まったもの、場所での遊びや保育者が一緒に居ないと遊びが継続しなかった子ども達が、それぞれに好きな場所を自分から見つけて遊びに向かうという姿が見られるようになっていった。**

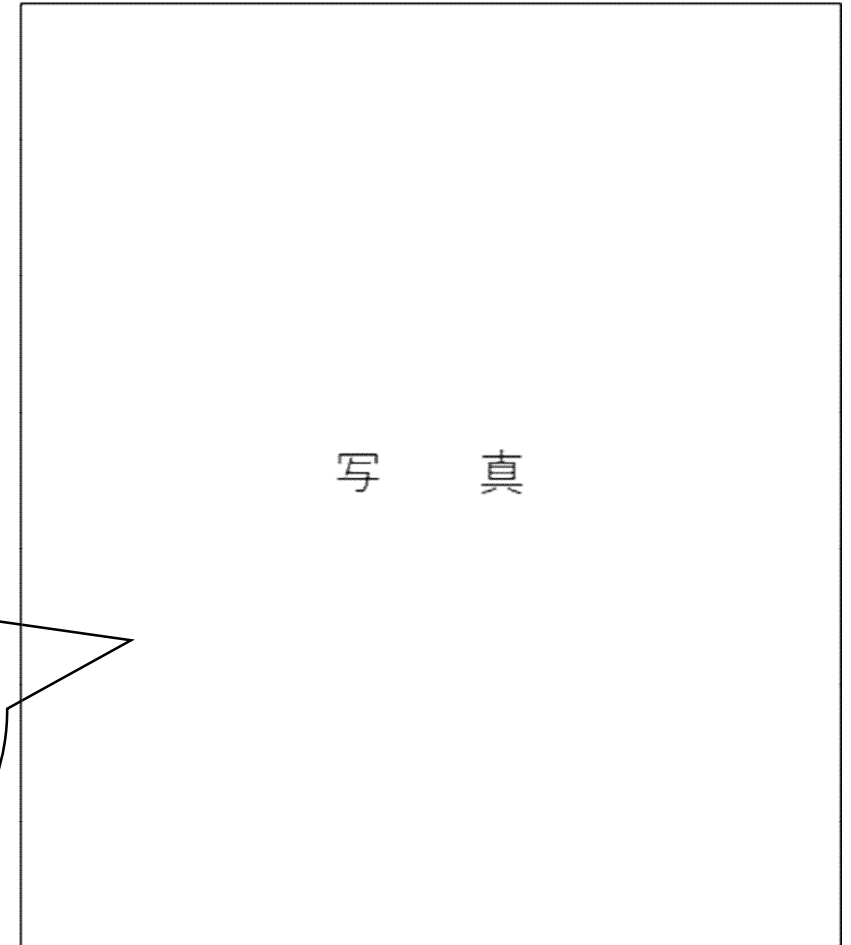
5 成果

①子どもの姿の変容

タイヤを自分たちで転がし積み上げて、見立て遊び（お風呂）やかくれんぼ遊び等工夫して遊ぶ姿に変わっていきました。



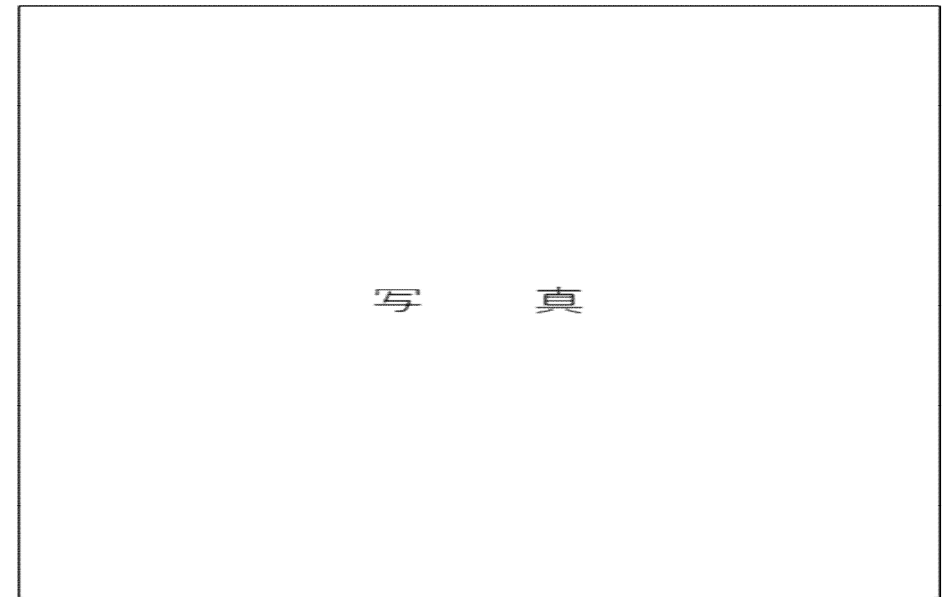
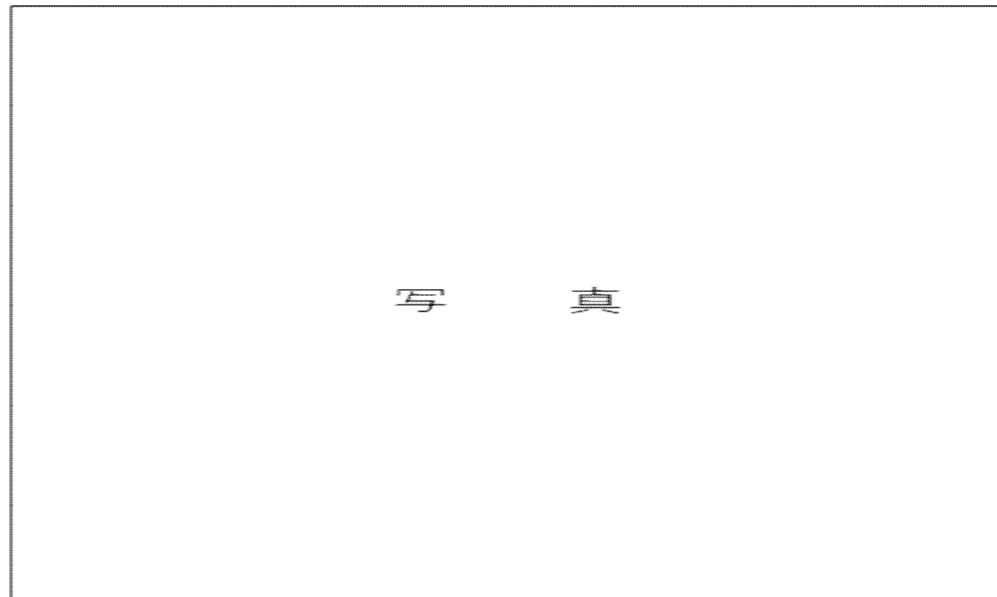
ロープをつるすとみんながぶら下がりはじめました。



タイヤを下に置くことでより高い位置によじ登ったりぶら下がったりすることに気付きました。

5 成果

①子どもの姿の変容



タイヤを段々に積み重ねると、よじ登ったり、並んで順番にとんだりするようになりました。(規範性)

5 成果

①子どもの姿の変容

おだんご
ころがして
みよう

写 真

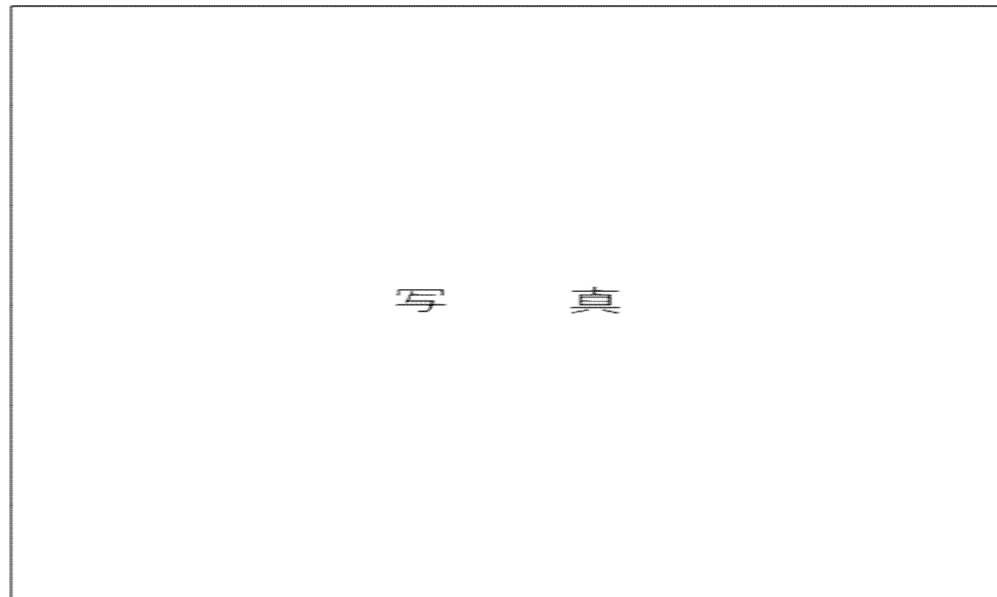
写 真

赤土山に溝を作ってみると、
水を流したり、泥だんごを転がしたりして、
大好きな泥あそびを夢中になって遊びました。

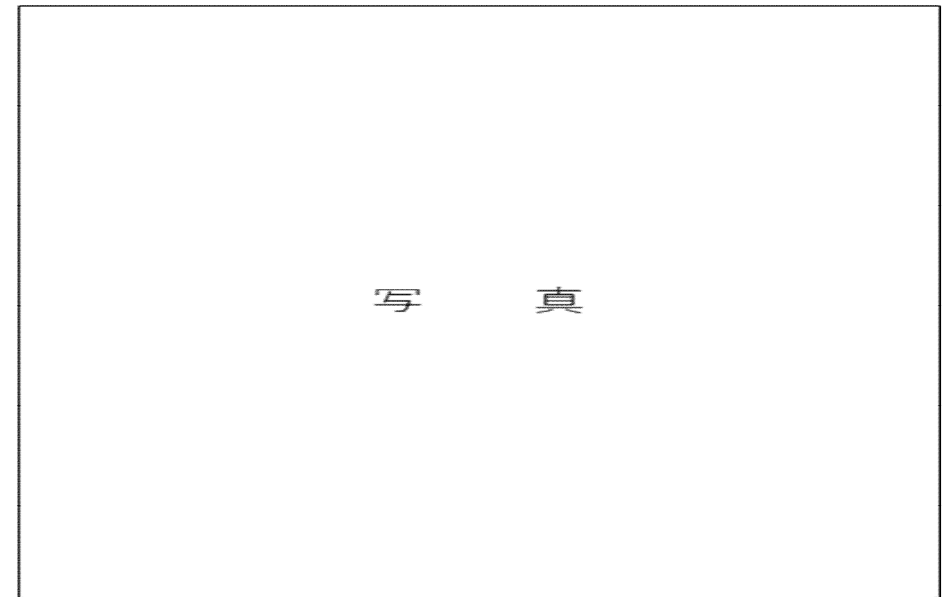
5 成果

①子どもの姿の変容

手作り滑り台を組み立てて設置すると



ミニ滑り台が楽しくて
何回もくり返して
遊びます。



2才児は、うんていに
手が届くことによって
ぶら下がるあそびから手を
前に進めようとする姿へ…

5 成果

①子どもの姿の変容

ホースフープの数を増やすと

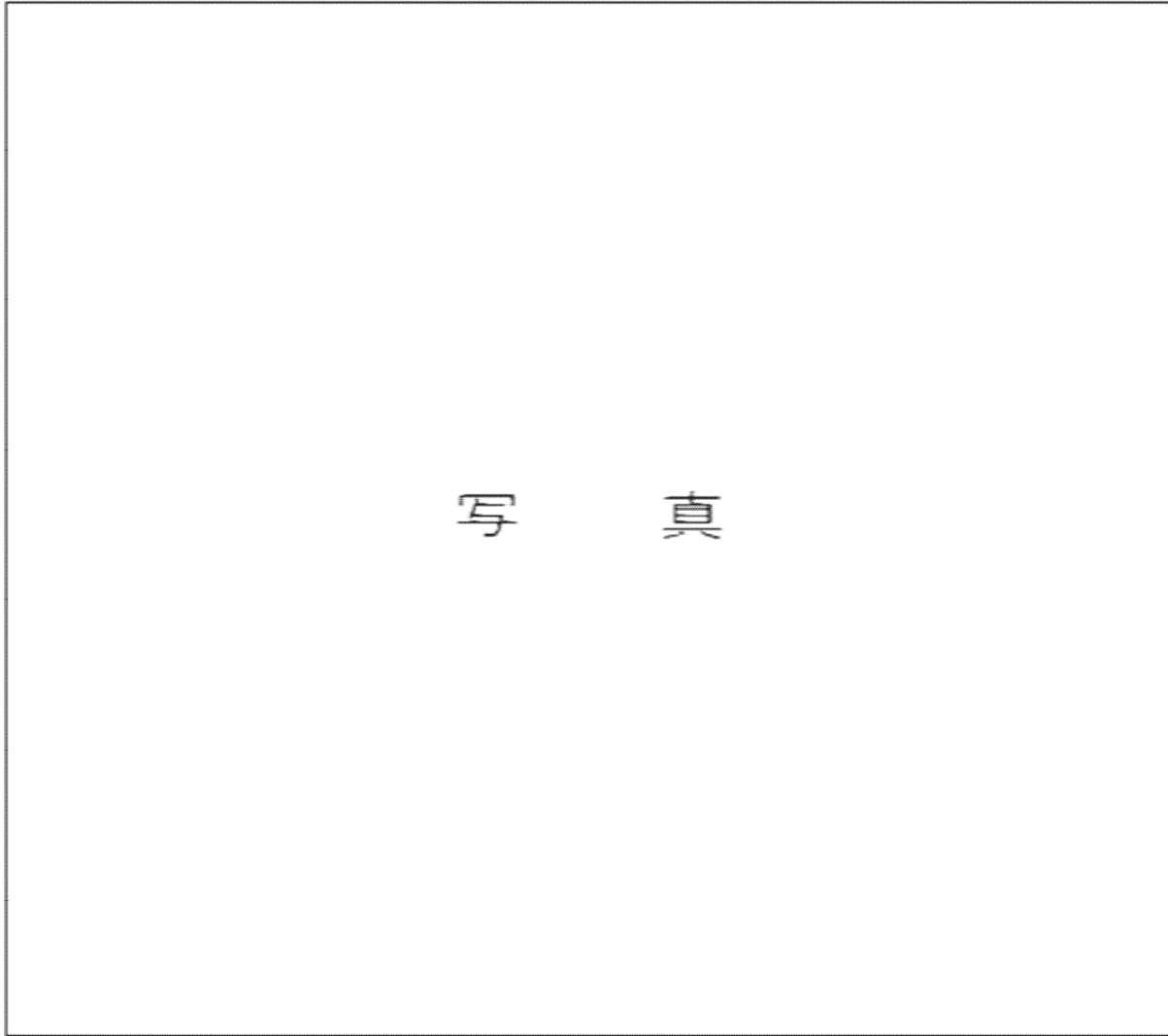


異年齢で一緒に並べたり列になって歩いたり跳んだりする姿が見られるようになりました。

また、3歳児が1歳児を待ってあげたり、手を繋いで歩いたりする姿もありました。

5 成果

①子どもの姿の変容



三角コーンを置く
と、力を合わせて
輪投げをすること
で、沢山入ったこ
とを喜ぶ姿に変
わっていきました。

5 成果

①子どもの姿の変容

2つあったポックリに興味を示す子どもの姿から、ポックリを作って増やしてみたところ・・・



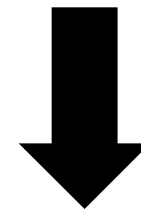
興味・関心
やってみよう!!



毎日繰り返して
遊ぶようになり

右、左
手と足を交互に
動かして・・・

できた!!
達成感

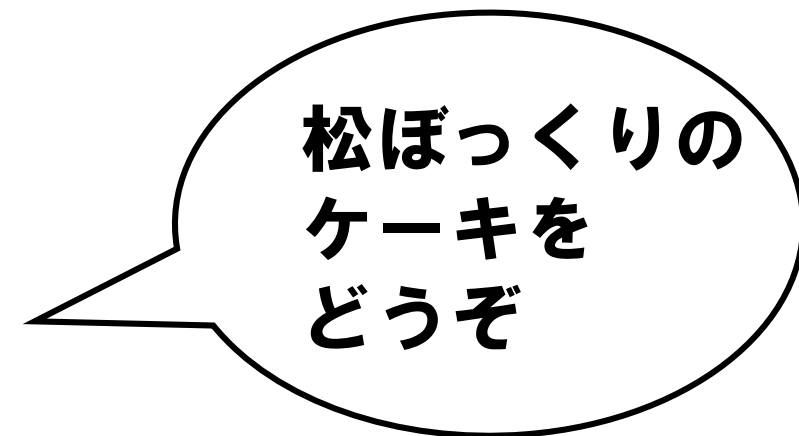


一緒に
歩いてみよう!!
喜び・関わり

5 成果

①子どもの姿の変容

テーブルや自然物を用意すると、料理をする真似をしてみたり、砂の入った容器を並べて遊んだり自然物を使って料理を作ったり見立て遊びをする姿に変わっていきました。



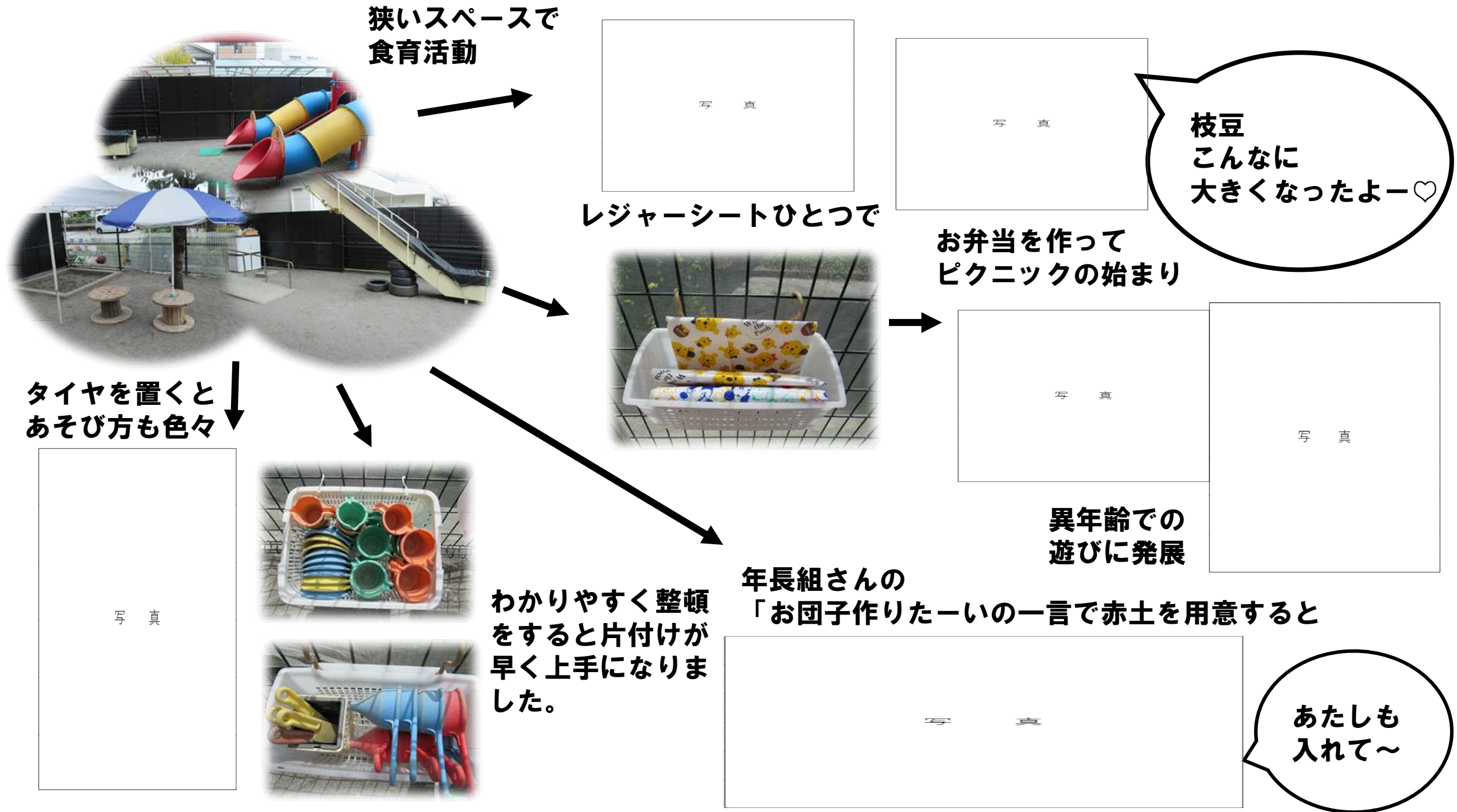
5 成果

②研修体制に関わる内容

- 研修目標について3施設の職員全体でじっくりと話し合うことで、自園の強み弱みを振り返り、同じ目標に向かって取り組むことができた。
- 保育園では、模造紙に園庭の写真を大きく引き伸ばし貼り出し、子どもがどこでどんな遊びをしているのかを職員で出し合い、ふせんで貼っていくことで、どこに何があったら遊びが広がっていくのかを考え手作りしていった。
- 子ども達が自分で遊べるようになり、保育者が子どもを見る余裕が生まれると、保育者が子ども達の様子を見て、次々と遊びを考えられるようになっていった。
- 保育者が子ども達のことを以前よりもっと理解できるようになった。

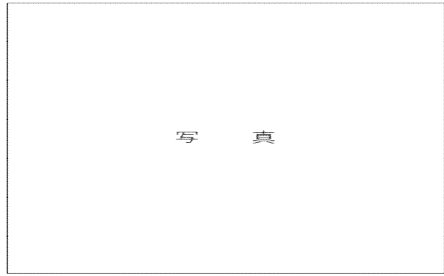
5 成果

②研修体制に関わる内容（学園）

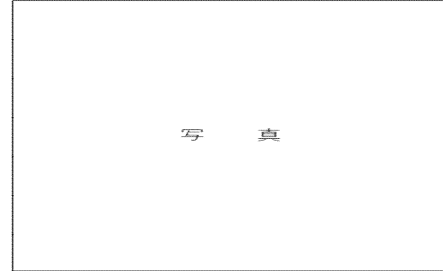


5 成果

②研修体制に関わる内容（保育園）



ホースの
リサイクル
ホースの輪っか



取り出しやすく
片付けしやすく
するには？

フェンスには…
★ペットボトルで
虫ケース
★手作りぽっくり いつでも



手作りの赤土山



赤土山を
もっと
楽しく
あそべる場に

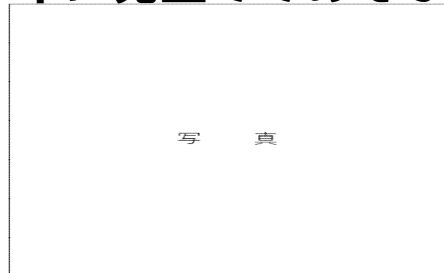


うんていは
何になる？
手が届かない

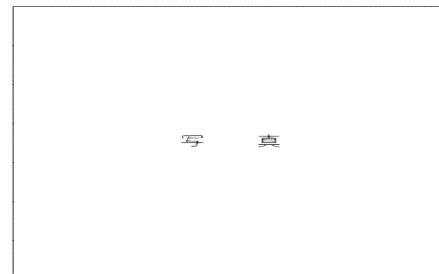
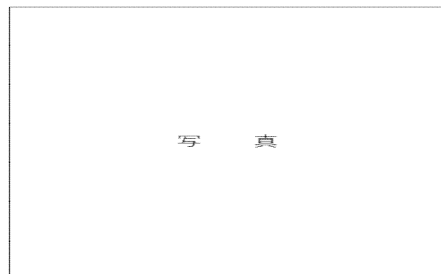


傾きのある
手作りの台

バスケットゴールポールを
車に見立ててあそぶ姿から



手作りのバス
を作成



5 成果

②研修体制に関わる内容（キッズ）

保護者からいただいた

まつぼっくりや
どんぐり

お鍋やボール



こわれた
パーティーンで
どんぐりコロコロを
作ると



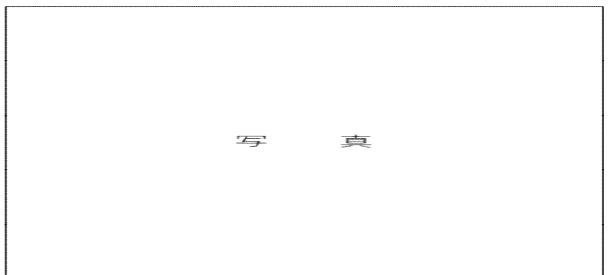
異年齢の子ども達が
一緒に遊べるように
なりました。



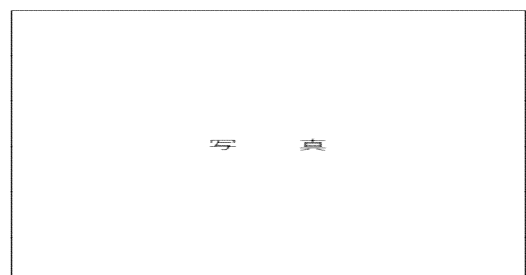
どんぐりの
木の下に
花壇を作ると



ダンゴ虫さがしに夢中



ペットボトルの一本橋
順番に守って歩きます。



大好きなままごとあそび
本物のお鍋を使ってごっ
こあそびに発展します。



落ち葉のプール
小さなお友だちも一緒に
大はしゃぎ

5 成果

③保育者の意識や保育実践の変容

- ・ 見守る保育から一緒に参加する保育に変わっていき、子どもの気付きや発見に目を向けられるようになった。
- ・ 子ども達の発達や遊びの姿から環境を見直すようになった。（保育の振り返りから明日の保育へつなげていく）
- ・ 保育者間での話し合いが増え、共通理解のもと取り組んでいくようになった。

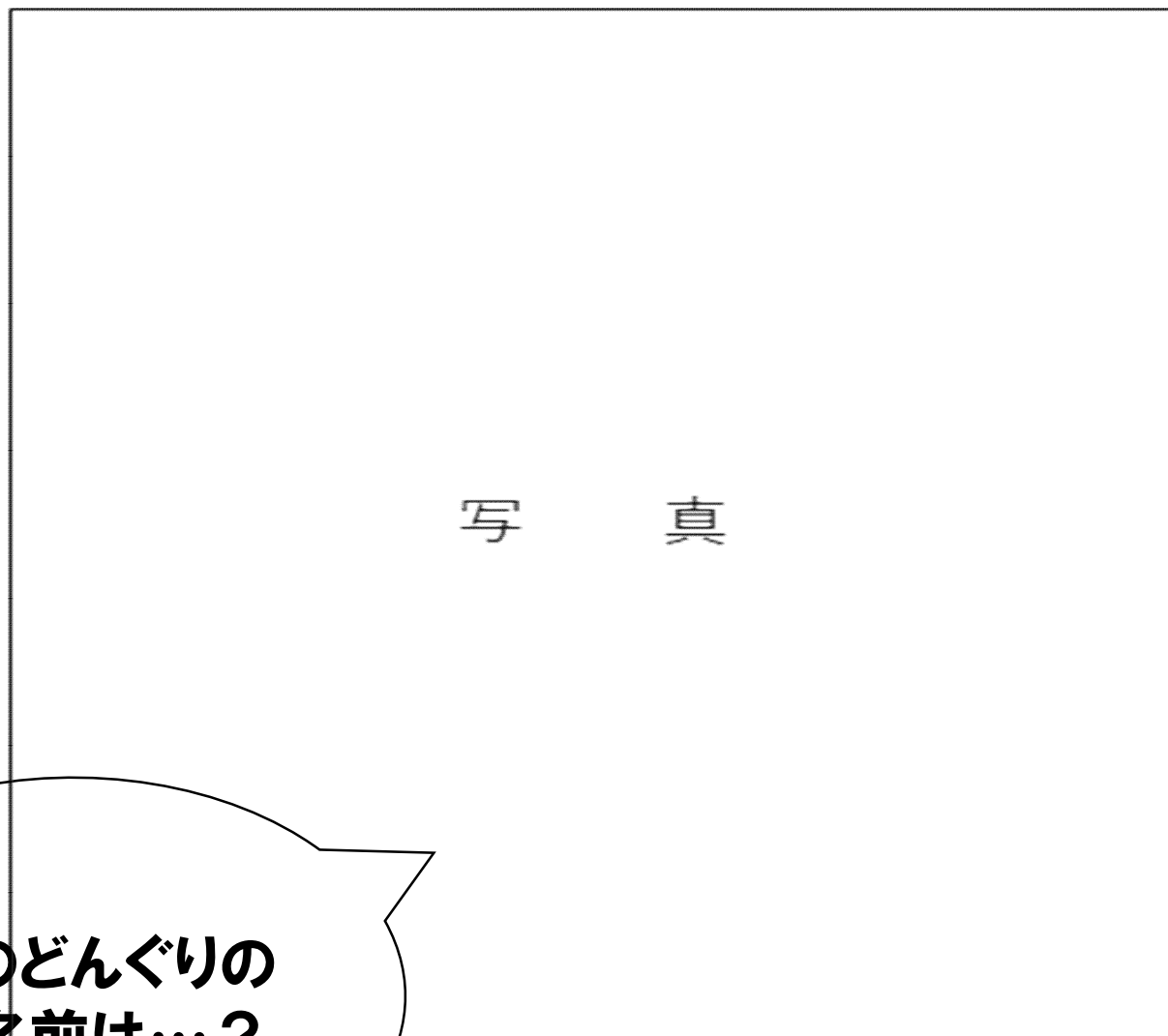
5 成果

④公開保育を行って

- ・園外の参加者からの色々な意見や見方を聞いたことで、自園だけでは気付かなかった子どもの姿の捉え方等を改めて気付くことができ、たくさんさんの学び（発見）を得ることができた。
- ・子どもの生活や遊びの姿を話し合う機会が増え、共通理解がもてるようになった。
- ・異年齢で一緒になって遊ぶ機会が増えたことで、職員同士が他のクラスのこととも理解し、クラス間の連携が以前よりもしっかりとれるようになった。

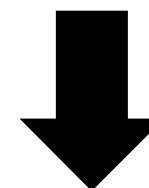
5 成果

④公開保育を行って

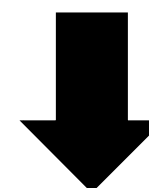


このどんぐりの
お名前は…？

どんぐりに色々な形があることに気づいた子ども達



どんぐりの種類が分かるように
写真を貼りました。



写真と照らし合わせて見たり図鑑で調べたりする姿も見られるようになりました。

5 成果

④公開保育を行って

どんぐりや葉っぱ・じゅず玉通し

種類の豊富な自然物と道具を使って、見て、触れて、試して、工夫して、遊びを楽しむ姿が見られました。

みてみて
いろんなかたちがあるよ

穴がちいさくて
みえにくいね～

この実
あかいグミみたい
あつめよう♪

写 真



「明日も、またしようね！」

5 成果

④公開保育を行って

写 真

☆秋の季節と環境構成からのあそび

5 成果

④公開保育を行って

落ち葉のプール

子ども達の思いっきり遊ぶ姿から
継続して何日も遊べるよう環境を
維持するようになりました。

写 真

はっぱの
シャワーだ～

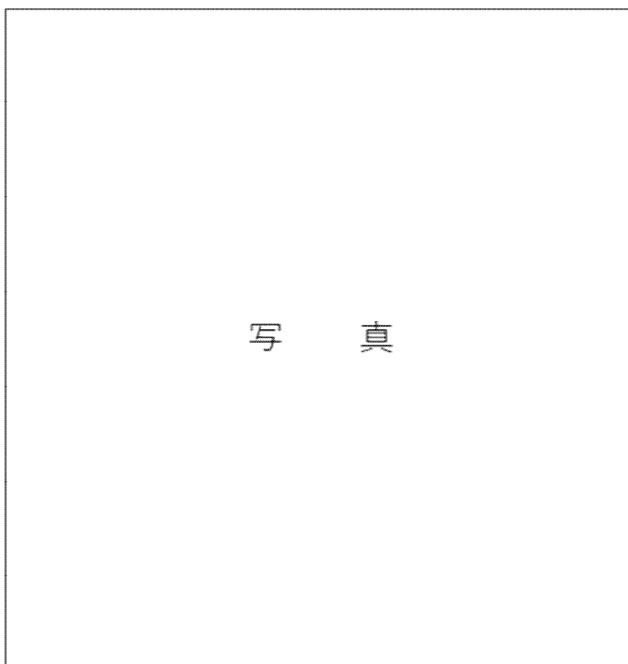
写 真

秋の自然物で
思いっきり遊びました。

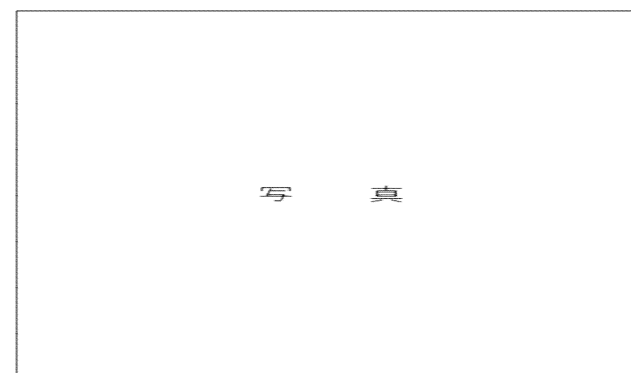
5 成果

④公開保育を行って

保育者が子どもの遊びや興味によって環境に変化をもたせるようになっていったことで・・・



のびのびと遊ぶ姿



**あそびの
広がり（発想）
の姿が見られるように
なっていました。**

6 来年度に向けて

①子どもの姿から、さらに伸ばしていきたい力

☆のびのびと自分から体を動かして遊ぶことを楽しむ力が育ってほしいと願う。

☆見る・触れる・探索するなど身近な環境に自分から関わろうとする力が育つことを願う。

②研修体制・保育実践・保育の質に関すること

☆養護を基盤とした育ちを理解することからはじめ、今、子ども達がどんな気持ちで何をしようとしているのか？何がしたいのか？子どもの気持ちを探る・見る（観る）・力を養えるよう（培うよう）園全体で取り組んでいきたい。

学ぼうとする気持ち
素直な気持ち
豊かな心

をもって保育に従事していきたい。